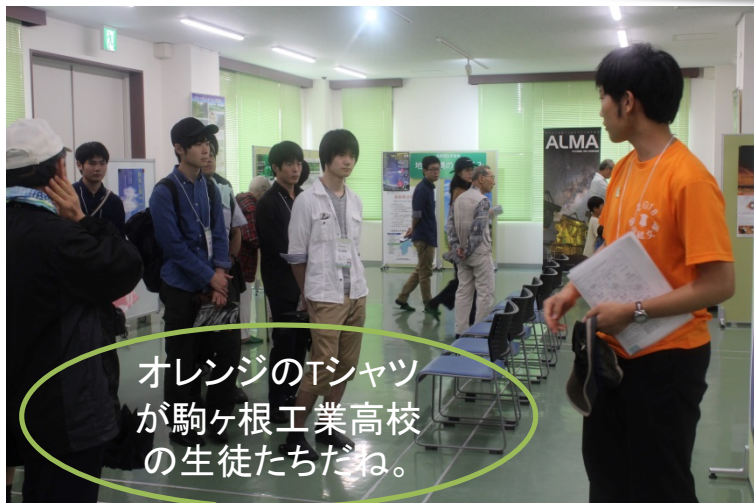
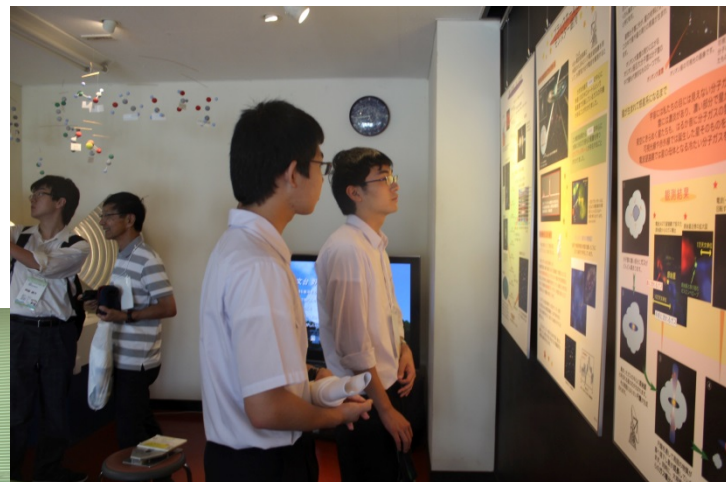


信州総合文化祭の見学対応

ホストの駒ヶ根工高の生徒たちは大忙し！



オレンジのTシャツ
が駒ヶ根工業高校
の生徒たちだね。



多くの高校
生が来てく
れたんだよ。



信州総合文化祭って？

信州総合文化祭(以下、信州総文祭)は、8月7～11日にわたって長野県下の多くの会場にて行われた全国高校文化祭のことです。演劇から郷土芸能、写真、新聞に至るまで、様々な分野で発表が行われました。ちなみに、佐久市では「文芸」が開催されました。全体の開会式は松本で、閉会式は長野市で行われましたが、閉会式には秋篠宮様もご出席されたようです。

観測所では何をしたの？

信州総文祭の一分野「自然科学」の発表は、茅野市の諏訪東京理科大をメイン会場にして、7～9日に行われました。その「自然科学」に発表した高校生たちは、巡検と称して、8日の午後の時間を地元の高校生を案内役として自然科学に関する施設や名勝を訪ねました。その一つが、野辺山観測所だったというわけです。「自然科学」分野のホスト役は諏訪清陵高校でしたが、観測所の案内役は毎年実習を行っており、当観測所をよく知っている駒ヶ根工業高校でした。

駒ヶ根工業高校との関わり

毎年7月には、まる1日をかけて見学と実習を行っています。さらに、特別公開では太陽電波パートでボランティアとしてお手伝いをしていただいています。さらに、篠原さんの指導のもと、高校では電波望遠鏡を自作し、太陽電波の観測を実施しています。近い将来、アンテナを増やし、干渉計として働かせることを計画しています。

準備は念入りに

観測所の見学のホストということで、昨年12月から準備を始めました。4月に実際の生徒たちが下見をして、7月には、諏訪清陵高校が募集した方々を案内するという予行演習をやって準備してきました。

大成功の巡検

大型バス2台で約90名が参加しました。(希望者数は2倍くらいあったらしく、「自然科学」では一番人気だったようです。)太陽電波受信、4Dシアター、さらに45m電波望遠鏡見学とフルコースの見学でしたが、天候に恵まれず、しかも約2時間半という限られた時間の中で、案内役の駒ヶ根工業高校の生徒たちがよく頑張り説明をしていました。そのおかげで、たいへん好評だったようです。

